

第1号議案



2019

ITU世界トライアスロン・パラトライアスロンシリーズ
横浜大会

事業報告書（案）

目次

1 大会結果	P2
(1) エリートパラトライアスロン、エリート競技報告	P2
(2) 主な成績	P2
(3) エイジグループ競技	P3
(4) 観戦者数	P3
2 コースマップ	P4
(1) エリートパラトライアスロンコースマップ	P4
(2) エリートコースマップ	P4
(3) エイジパラトライアスロンコースマップ	P5
(4) エイジコースマップ	P5
3 主要スケジュール	P6
(1) エリートパラトライアスロン	P6
(2) エリート	P6
(3) エイジグループ	P7
4 大会支援	P8
(1) 協賛企業	P8
(2) 横浜1口サポーター	P8
(3) スタッフ	P9
5 10年間の推移	P10
(1) 10年データ「参加者」	P10
(2) 10年データ「観戦者」	P11
6 第10回記念大会の取り組み	P12
(1) 記念大会キャッチフレーズ	P12
(2) 魅力創出プロジェクトの開催	P12
(3) 大会公式応援ソング	P12
7 環境への取り組み	P13
8 大会広報	P13
(1) 広報強化	P13
(2) メディア実績	P13
9 ブランディング	P14
(1) ブランディングプラン	P14
(2) 和柄ポスター10年史	P15

1 大会結果

2009年第1回大会から数え、10回目の開催となりました「2019ITU世界トライアスロン・パラトライアスロンシリーズ横浜大会」を、2019年5月18日(土)、19日(日)の両日に山下公園周辺特設会場にて開催しました。

(1) エリートパラトライアスロン、エリート競技 報告

項目	内容						
開催日時	2019年5月18日(土) 06:50-08:47 エリートパラトライアスロン 10:16-12:22 エリート女子 13:06-14:59 エリート男子						
天候	晴 気温: 21.0℃、水温: 22.0℃、風速1.0m/北東 (10時16分時点)						
参加国及び地域	37の国と地域 ドイツ、イギリス、アメリカ、オーストラリア、日本、スペイン、オランダ、フィンランド、ロシア、フランス、ノルウェー、チェコ、ベルギー、メキシコ、スロバキア、エストニア、フィリピン、チリ、カナダ、ハンガリー、ニュージーランド、イタリア、中国、ルクセンブルク、アイルランド、オーストリア、ポルトガル、ウクライナ、スロベニア、イスラエル・アゼルバイジャン・南アフリカ、ギリシア、マレーシア、シンガポール、ホンコンチャイナ、韓国						
出走者数	区分	出走数		完走数		完走率	
		男子	女子	男子	女子	男子	女子
	エリートパラトライアスロン	70		70		100.0%	
		41	29	41	29	100.0%	100.0%
エリート	93		86		92.5%		
	49	44	45	41	91.8%	93.2%	

(2) 主な成績

ア エリートパラトライアスロン女子結果 (各クラス1位)

クラス	順位	氏名	国/所属	総合記録
PTWC-W	1	ジェイド・ホール	イギリス	1:09:01
PTS2-W	1	アリッサ・シーリー	アメリカ	1:19:38
PTS3-W	1	アナ・プロトニコワ	ロシア	1:24:23
PTS4-W	1	ケリー・エルムリンガー	アメリカ	1:16:34
PTS5-W	1	グレイス・ノーマン	アメリカ	1:07:49
PTVI-W	1	スサーナ・ロドリゲス	スペイン	1:09:32

イ エリートパラトライアスロン男子結果 (各クラス1位)

クラス	順位	氏名	国/所属	総合記録
PTWC-M	1	ヘルト・スキパー	オランダ	0:58:24
PTS2-M	1	ステファン・バイエ	フランス	1:09:05
PTS3-M	1	ニコ・ファン・デル・ブルフト	オランダ	1:11:13
PTS4-M	1	アレクシ・アンカンコン	フランス	1:02:43
PTS5-M	1	ステファン・ダニエル	カナダ	0:58:54
PTVI-M	1	ホセ ルイス・ガルシア セラーノ	スペイン	1:02:16

ウ エリート女子結果 (TOP3と日本人選手最高位)

順位	氏名	国籍/所属	総合記録	タイム差
1	ケイティー・ザフィアエス	アメリカ	1:52:12	
2	サマー・ラパポート	アメリカ	1:52:33	0:00:21
3	テイラー・スパイビー	アメリカ	1:53:29	0:01:17
4	高橋侑子	富士通/東京	1:53:38	0:01:26

エ エリート男子結果 (TOP3と日本人選手最高位)

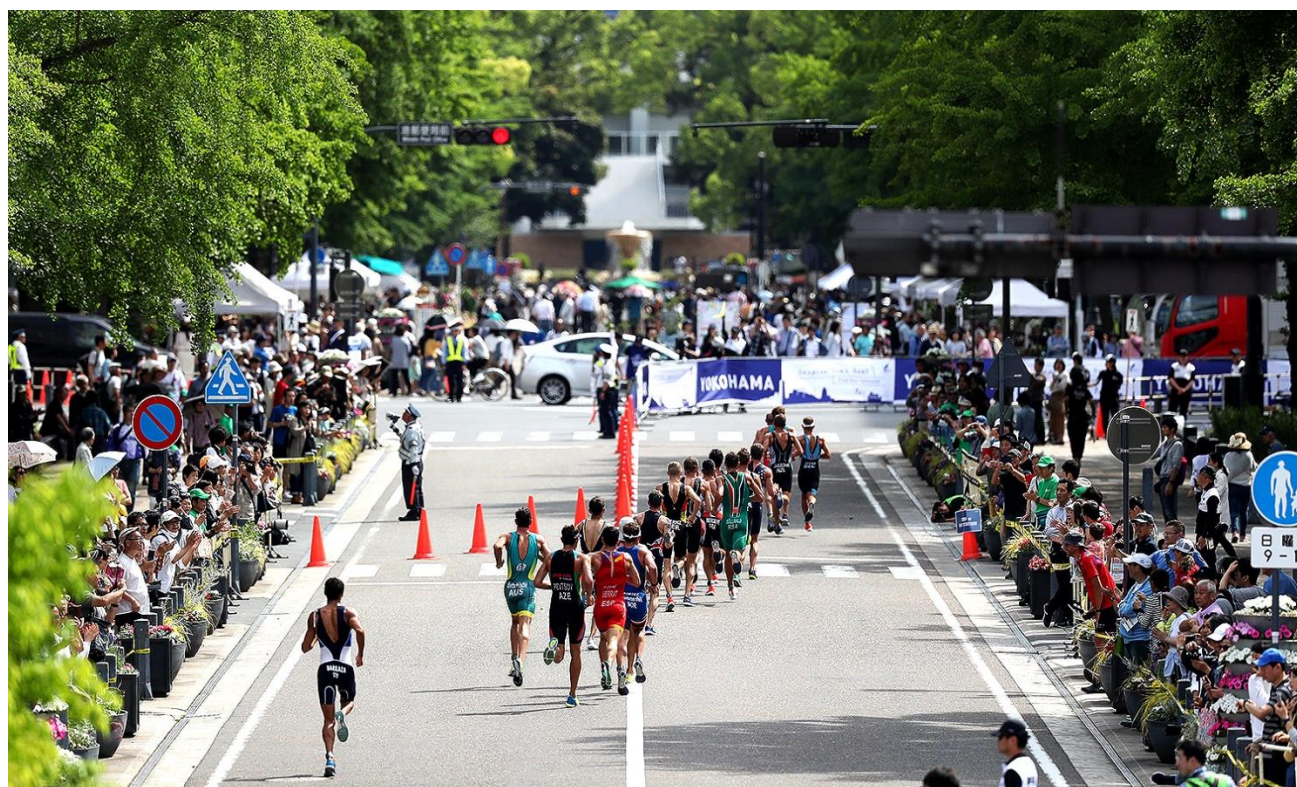
順位	氏名	国籍/所属	総合記録	タイム差
1	バンサン・ルイ	フランス	1:43:21	
2	ヘンリ・スクーマン	南アフリカ	1:43:24	0:00:03
3	ベンツェ・ビチャーク	ハンガリー	1:43:26	0:00:05
33	二ナー ケンジ	NTT東日本・NTT西日本/山梨	1:47:01	0:03:40

(3) エイジグループ競技 (パラトライアスロン、スタンダード、スプリント、リレー) 報告

項目	内容					
開催日時	2019年5月19日 (日) 07:15 - 13:59					
気 候	くもり 気温: 25.6℃、水温: 21.0℃、風速3.0m/東南東 (09:00時点)					
出走者数	区分	出走数		完走数		完走率
		男子	女子	男子	女子	
	エイジ パラトライアスロン	27		26		96.3%
		21	6	21	5	
	エイジ スタンダード 51.5km	1,128		1,078		95.6%
		973	155	930	148	
	エイジ スプリント 25.75km	259		239		92.3%
213		46	196	43		
リレー	123 (41組)		120 (40組)		97.6%	
合計	1,537		1,463		95.2%	

(4) 観戦者数

465,000人 (※沿道の応援を含む延べ人数) 過去最多



2 コースマップ

(1) 5月18日(土) エリートパラトライアスロン



(2) 5月18日(土) エリート



(3) 5月19日 (日) エイジパラトライアスロン



(4) 5月19日 (日) エイジ



3 主要スケジュール

(1) エリートパラトライアスロン

Thu. 16 MAY, 2019		
13:00-14:00	プレス説明会	ホテルモントレ横浜 (ビクトリア)
14:00-15:00	記者会見 (海外選手・日本人選手)	ホテルモントレ横浜 (ビクトリア)
17:30-20:00	公式パーティー	ホテルニューグランド (ペリー来航の間)
19:00-21:30	アスリートディナー	ホテルモントレ横浜 (ビクトリア)
Fri. 17 MAY, 2019		
06:15-07:00	エリートバイクコース試走	バイクコース
14:00-15:45	エリートパラトライアスロンPTWCハンドサイクル&車いすチェック	山下公園 (アスリートラウンジ)
15:00-15:45	エリートパラトライアスロンスイムコース試泳	山下公園 (スイムコース)
16:00-17:00	エリートパラトライアスロン受付	ホテルモントレ横浜 (ビクトリア)
17:00-	エリートパラトライアスロン競技説明会	ホテルモントレ横浜 (ビクトリア)
Sat. 18 MAY, 2019		
06:30-15:20	交通規制	
06:30-	オープニングセレモニー	山下公園 (スタートエリア)
06:50-	エリートパラトライアスロン競技 スタート	山下公園 (スタートエリア)
08:00-17:00	EXPOオープン	山下公園 (EXPOエリア)
12:10-13:00	交通安全パレード	みなとみらいエリア
15:30-16:00	エリートパラトライアスロンメダルセレモニー	山下公園 (表彰ステージ)
16:40-	キッズドリームフェスタ	山下公園特設コース
18:00-19:30	感謝のつどい	ホテルモントレ横浜 (ビクトリア)

(2) エリート

Thu. 16 MAY, 2019		
13:00-14:00	プレス説明会	ホテルモントレ横浜 (ビクトリア)
14:00-15:00	記者会見 (海外選手・日本人選手)	ホテルモントレ横浜 (ビクトリア)
17:30-20:00	公式パーティー	ホテルニューグランド (ペリー来航の間)
17:00-18:00	エリート選手受付	ホテルモントレ横浜 (ビクトリア)
18:00-	エリート選手説明会	ホテルモントレ横浜 (ビクトリア)
19:00-21:30	アスリートディナー	ホテルモントレ横浜 (ビクトリア)
Fri. 17 MAY, 2019		
06:15-07:00	エリートバイクコース試走	エリートバイクコース
16:00-16:45	エリートスイムコース試泳	山下公園 (スイムコース)
Sat. 18 MAY, 2019		
06:30-15:20	交通規制	
06:35-	オープニングセレモニー	山下公園 (スタートエリア)
08:00 - 17:00	EXPOオープン	山下公園 (EXPOエリア)
10:05-	エリート女子スタートセレモニー	山下公園 (スタートエリア)
10:16	エリート女子競技 スタート	山下公園 (スタートエリア)
12:25-12:40	エリート女子メダルセレモニー	山下公園 (表彰ステージ)
12:10-13:00	交通安全パレード	みなとみらいエリア
12:55	エリート男子スタートセレモニー	山下公園 (スタートエリア)
13:06	エリート男子競技 スタート	山下公園 (スタートエリア)
15:00-15:15	エリート男子メダルセレモニー	山下公園 (表彰ステージ)
16:40-	キッズドリームフェスタ	山下公園特設コース
18:00-19:30	感謝のつどい	ホテルモントレ横浜 (ビクトリア)

(3) エイジグループ

Fri. 17 May, 2019		
19:00-20:00	競技説明会 日本語	横浜市開港記念会館 講堂
Sat. 18 May, 2019		
10:30-11:30	競技説明会 日本語①	横浜市開港記念会館 講堂
13:00-14:00	競技説明会 日本語②	横浜市開港記念会館 講堂
15:30-16:30	競技説明会 日本語③	横浜市開港記念会館 講堂
17:00-18:00	競技説明会 英語①	横浜市開港記念会館 9号室
17:30-18:30	競技説明会 日本語④/パラトライアスロン	横浜市開港記念会館 講堂・6号室
19:00-20:00	競技説明会 日本語⑤/英語②	横浜市開港記念会館 講堂・9号室
Sun. 19 May, 2019		
07:00-13:10	交通規制	各コース
06:55-	エイジパラトライアスロン スタートセレモニー	山下公園/スタートエリア
07:15-	エイジパラ・スタンダード・リレー競技 スタート	山下公園/スタートエリア
08:00-15:00	EXPOオープン	山下公園/EXPOエリア
11:00-	スプリントディスタンス競技 スタート	山下公園/スタートエリア
14:00	表彰式	山下公園/表彰ステージ
15:00-17:00	エイジフェアウェルパーティー	ホテルモントレ横浜 (ビクトリア)



4 大会支援

(1) 協賛企業

2019大会も、地元経済界や横浜で開催するスポーツイベントを愛する市民の皆さまなど、多くの企業・団体、個人の皆さまにご支援をいただき、大会を開催しました。

MAIN PARTNERS



SILVER PARTNERS



SUPPORTERS



横浜市信用保証協会、メモワール、神谷コーポレーション、ベンハウス、泉陽興業よこはまコスモワールド、フレッシュ・デルモンテ・ジャパン、ジョイホース横浜、横浜アーティスト、プライム通信工業、Ascenders

鳥かご、タカナシ乳業、オリマツ、大元 一義、宮城 隆隆、小俣組、光電社、横浜新都市センター、富士ホイス工業、ありあけ、中萬学院、保土ヶ谷技研、横浜信用金庫、共栄社、大地産業、北川商事、神奈川トヨタ自動車、McGUFFIN、横浜清港会、オールジャパンサービス、T&Mコンサルティング、横浜スカイビル、松本 康一郎、神奈川県バス協会、町田 利寛、関内まちづくり振興会、協和保険、三菱電機グループ（清康社、三菱電機ビルテクノサービス、三菱電機プラントエンジニアリング、千代田三菱電機機器販売）、産業貿易センター、マイルストーン、横浜ウォーキング交流会、總方 孝行、LRテクノジャパン、横浜ロイヤルパークホテル、tvkコミュニケーションズ、上野トランステック、エヌ・ケイ・テクノ、フェーストーン、ポートサービス、GUESTHOUSE LACAVA、横浜ビル建材、山崎製パン横浜第二工場、ロイヤルウィング、横浜深夜食堂、住宅設備、グローバル横浜警備保障、帆船日本丸記念財団、ソフィス、岩井の胡麻油、きゅうべえ、創健学会 東海道事務局、三光設備、TONI、山田サービス総合事務所、東京汽船、横浜港埠頭、ロイヤルホールヨコハマ、関東染工業所、Coolish Music、ちよっと Bar、ごっつあん、保和尊、カリフォルニア・レース協会



(2) 横浜 1口サポーター

「横浜 1口サポーター」制度は、横浜で継続開催している国際大会の情報発信力や経済波及効果等を理解いただくとともに、地元横浜が一体となって大会を盛り上げる、機運の醸成を目的としています。今大会も地元経済界や横浜のスポーツイベントを愛する、80件の企業・団体・個人の皆様にご支援・ご賛同いただいた結果が大会を成功に導いた一助となりました。

特別サポーター & 1口サポーター 合計

80件

Pick up!!

10回大会記念「特別サポーターコース」新設

本大会の第10回開催を記念して、10枠限定の「特別サポーターコース」（10万円（税別）／口）を新設しました。特典が追加されたこのスペシャルコースは完売し、10の企業・団体の皆様によるご支援をいただきました。

1	横浜市信用保証協会	6	フレッシュ・デルモンテ・ジャパン
2	メモワール	7	ジョイホース横浜
3	神谷コーポレーション	8	横浜アーティスト
4	ベンハウス	9	プライム通信工業
5	泉陽興業よこはまコスモワールド	10	Ascenders

(3) スタッフ

運営・競技スタッフ、ドーピング検査員や医師・看護師などのスタッフとともに、ボランティアも含めた大会運営をささえる3,762名のスタッフが活動しました。

ア ボランティアスタッフ

イ 運営協カスタッフ

団体名	活動内容	人数
一般ボランティア	インフォメーション、グリーンキーパー 他	368
よこはま2002	LOC、エリートスイム練習会場 他	76
横浜市救急救命士会	メディカル	36
全日本潜水連盟	スイム会場安全対策	11
横浜ラポール	パラトライアスロン運営補助	2
日本ケアフィット共育機構	インフォメーション	15
JACE	エイド (象の鼻パーク)	20
横浜市総合型地域スポーツクラブ連絡協議会	エイド (象の鼻パーク)	33
湘央生命科学技術専門学校	メディカル、エイジ競技説明会 他	146
湘南医療福祉専門学校	エイド (山下ふ頭)	47
ENEOS (JXTGエネルギー)	エイド (みなと通り)	20
NTT東日本	エイド (モントレ前)	20
NTT東日本神奈川事業部	エイド (海岸通り)	20
日清オйл	エイド (みなと通り)	4
岩崎学園	メディカル	24
古河電池	コース設営・シャワー	11
東海大学	LOC、インフォメーション他	10
横浜市立大学	選手受付、スポーツプレゼンテーション	14
早稲田大学	選手・観戦者アンケート	14
合計		891

名称	活動場所	人数
横浜市スポーツ推進委員連絡協議会	沿道の誘導案内、警備補助	365
昭和大学	医師・看護師	30
NHK	映像制作	130
NHK G・メディア	国際映像制作・配信	60
セレスポ	会場施工、スポーツプレゼンテーション 他	604
JTBコーポレートセールス	宿泊・輸送・ツアーデスク 他	100
JEB	公道施工、安全対策	550
日建リース工業	観覧席設営	90
ネオシステム	計測業務	11
横浜アーティスト	EXPO運営、会場内車両誘導 他	35
国立科学スポーツセンター	バイク計測	10
ピースフル	メディカル業務運営	7
LRAD	緊急時海上避難誘導対策	4
コングレ	通訳	2
日本写真判定	フィニッシュ時写真判定	4
Rescue Team PEGASUS	海上安全対策	12
日本ライフセービング協会	海上安全対策	12
横浜港埠頭	山下ふ頭内管理	2
横浜市環境創造局・温暖化対策統括本部	山下公園前海域の環境への取り組み 他	20
横浜市環境創造局都心部公園担当	山下公園管理	3
横浜市港湾局	監視船	9
横浜市中消防署	救急車配置	6
横浜市鶴見消防署 鶴見水上消防出張所	スタートセレモニー (消防艇)	7
横浜海上保安部	スタートセレモニー (消防船)	13
横浜市水道局 中村水道事務所	給水車、シャワー	10
横浜マラソン組織委員会	大会運営	7
合計		2,103

ウ 運営スタッフ

名称	活動場所	人数
ITU/NTO	大会運営、競技運営	40
日本トライアスロン連合	大会運営、競技運営	95
横浜市市民局	大会運営 (応援)	40
横浜市体育協会	大会運営 (応援)	100
日刊スポーツ新聞社	スポーツプレゼンテーション	6
神奈川県トライアスロン連合	競技運営、審判員派遣	457
JADA	ドーピング	30
合計		768



5 10年間の推移

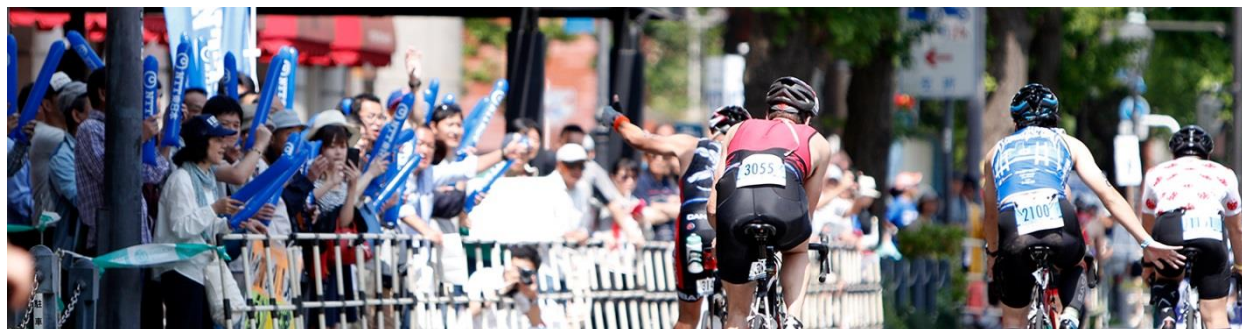
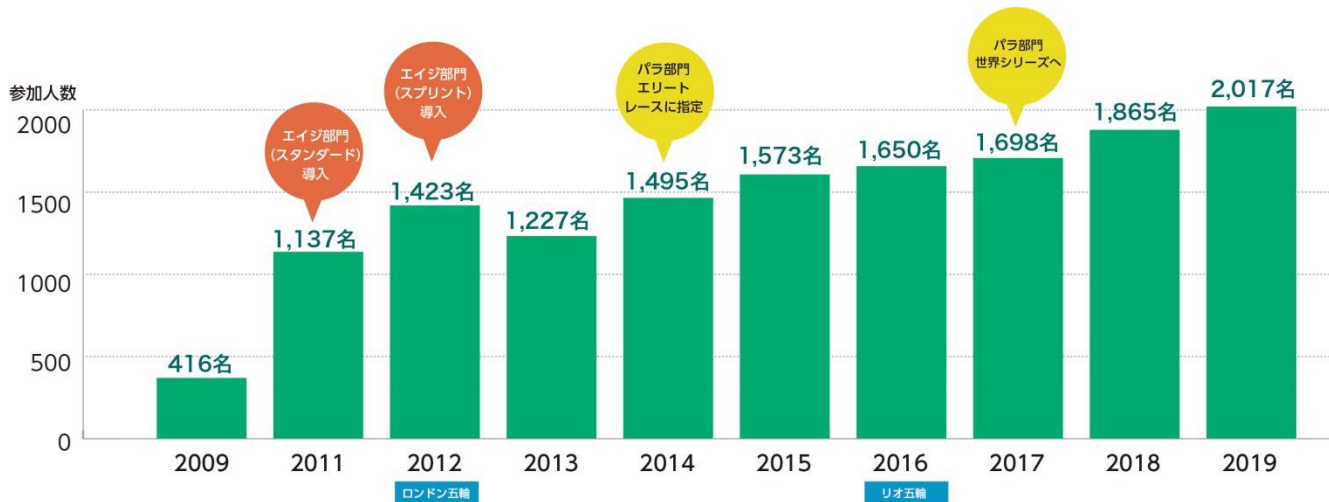
(1) 参加者

参加者

2009-2019年 総出場人数

14,500名

カテゴリー		2009	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	小計
エリート	男子	45	65	40	40	64	65	65	60	55	49	548
	女子	35	55	34	22	50	60	60	55	53	44	468
エリート パラトライアスロン	男子					45	44	45	45	43	41	263
	女子					15	14	11	25	27	29	121
エイジ (スタンダード)	男子		898	872	744	759	882	905	906	1,058	1,068	8092
	女子		82	97	114	144	156	180	178	188	174	1313
エイジ (スプリント)	男子			214	154	237	214	222	238	248	246	1773
	女子			29	26	42	40	40	62	51	51	341
リレー			33	121	102	135	84	102	108	102	120	907
			12組	42組	34組	45組	28組	34組	36組	34組	40組	305組
エイジパラトライアスロン	男子		3	14	22	4	12	15	14	33	23	140
	女子		1	2	3	0	2	5	6	7	6	32
ユース	男子	26										26
	女子	8										8
キッズ		302									166	468
合計		416	1,137	1,423	1,227	1,495	1,573	1,650	1,698	1,865	2,017	14,500



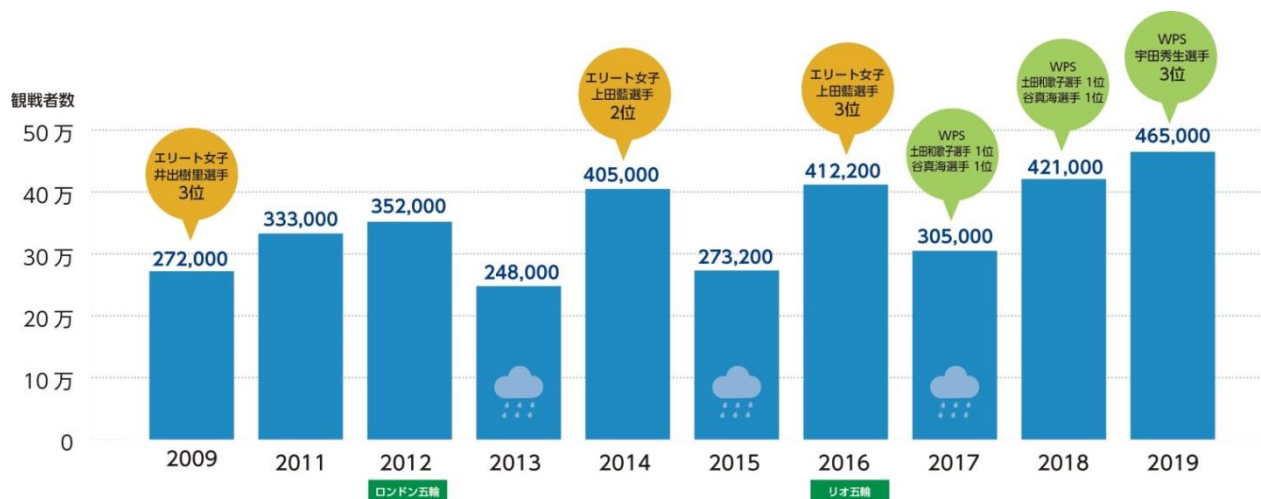
(2) 観戦者

観戦者

2009-2019年 総観戦者数

2,760,200名

開催年	1日目	2日目	2日間合計
2009	104,000	168,000	272,000
2011	98,000	235,000	333,000
2012	180,000	172,000	352,000
2013	78,200	169,800	248,000
2014	207,000	198,000	405,000
2015	85,200	188,000	273,200
2016	210,000	202,000	412,000
2017	92,000	213,000	305,000
2018	180,500	240,500	421,000
2019	195,000	270,000	465,000
合計	(1,157,400)	(1,602,800)	2,760,200



6 第10回記念大会の取り組み

2009年に横浜開港150周年記念事業として開催した「ITU世界トライアスロンシリーズ横浜大会」は、長年にわたり多くの企業・団体・関係者の皆様にお力添えをいただきながら成長し、2019年5月18日（土）・19日（日）に記念すべき第10回目の開催を迎えました。皆様と共に歩んだ軌跡を振り返りながら、横浜大会はこれからもトライアスロン発展の未来に向けて、新たなステージで成長を続けていきます。

(1) 記念大会キャッチフレーズ

ありがとう、10年の感謝を未来に

Thanks to you, 10th Anniversary!

横浜大会は「トライアスロン・パラトライアスロンの街、横浜」の定着に向け、10年間、着実に歩みを続けてきました。

第10回記念大会は、大会に関わるすべての皆様への感謝の意を表すとともに、市民・企業・団体の皆様、行政とともに10年間積み重ねてきた“トライアスロンレガシー”を未来に継承する節目となる、キャッチフレーズを据えた特別な大会に位置づけました。

(2) 魅力創出プロジェクト

2019WTS横浜大会を記念大会にふさわしい大会として成功させるために、“魅力創出プロジェクト”を創設しました。過去9回の横浜大会の開催により培ってきたノウハウや経験則、トライアスロンファミリーのネットワークや絆の力を最大限発揮して記念大会を創り上げるための21の事業化提案を行い、12の記念事業実施を実現させました。



キッズドリームフェスタ in YOKOHAMA

5月18日（土）エリート競技後に山下公園・山下ふ頭内特設コースで実施

元町ショッピングストリート
トライアスロンキッズランクリニック

5月6日（月・休）にオリンピックを講師に招き元町SS会メインストリートで実施



横浜そごう連携事業

元旦に特別福袋販売。また横浜そごう前のビジョンで1週間、大会告知CMを放映



参加選手の安全を最優先の大会運営

選手の安全を最優先に大会を実施するための参加料の見直しを実施



エイジ参加枠の拡大

エイジ出走枠（スタンダード）を100名増加し、1740名の参加選手を募集



環境への新たな取組

山下公園EXPO会場にエコステーション設置、エコplayerの導入及び環境ロゴの作成等



大会ボランティア特別記念品

記念大会のキーワード「感謝」の意を込めて、記念品のスイムバッグを作製



山下ふ頭、赤レンガ応援企画

山下ふ頭にメッセージ入り応援バナー掲出、赤レンガ倉庫では着物姿で選手を応援



エイジフェアウェルパーティー実施

選手が参加しやすい時間・場所にリニューアル井出樹里選手もゲストで登場！



横浜大会オリジナル商品販売

200個限定のオリジナルスイムバッグを、エイジ競技説明会時に横浜市開港記念会館で販売



横浜大会オリジナルメダル製作

エイジ表彰対象者全員に“ボーンマーク”を中央部にデザインした特別なメダルを贈呈



大会記念ロゴの制作

大会記念ロゴを制作することで、第10回記念大会の機運を醸成

(3) 大会公式応援ソング

今大会も、大会公式応援ソングで大会会場の盛り上げを図りました。

曲名	冒険者たち - Beyond the Adventure
作詞・作曲	高見沢 俊彦
編曲	THE ALFEE with 本田 優一郎

7 環境への取り組み

2009年の大会を開催するにあたり、山下公園前の海域の水質浄化実験を行い、海域生物による浄化能力の高い海づくりが重要であることを認識できました。以降、大会の開催にあたって横浜市と海の自然環境への取り組みで連携し、環境創造局の「きれいな海づくり事業」（海域浄化）や、温暖化対策統括本部の「横浜ブルーカーボン事業」（環境クレジットの創出）など、各種の環境事業を協働で進めてきました。今回新たに、エコステーションの設置やクリーンキーパーの配置を通して、環境美化に関する取り組み強化に努めました。

	取り組み内容
1	Green Triathlonの実施
2	ISO20121の継続更新
3	横浜ブルーカーボン事業の実施
4	道志村水源林間伐材の活用
5	大会エコPlayerの導入
6	エコステーションの設置
7	クリーンキーパーの配置



8 大会広報

(1) 広報強化

第10回記念大会を契機として、世界トライアスロンシリーズ横浜大会の開催認知度をより高めるために、様々な媒体を活用することで、東京圏広域における新たな広報戦略を展開しました。これらの取り組み等が功を奏し、今大会は過去最多465,000人に大会を観戦いただく結果となりました。

	主な取り組み（抜粋）	主な内容（抜粋）
1	大会告知映像の放映	JR東京駅をはじめとするJR東日本エリア20駅にて放映
2	フリーペーパーの配布	5月号の表紙を飾り、横浜・都内主要駅前にて約16万部を配布
3	10年史ポスターの掲出	横浜駅きた通路にて過去9回の歴史を振り返る37種類のポスターを掲出
4	ポスター掲出	市内スポーツ施設・横浜市内主要駅にて約2,300枚を掲出
4	懸垂幕の掲出	4月8日から5月20日までの期間、横浜市庁舎三角柱に掲出
5	バナーの掲出	横浜市庁舎周辺・日本大通りを中心に20種類、約150枚を掲出
6	テレビ・ラジオ放送	NHKでの競技生中継をはじめ、約10番組で大会告知放映
7	新聞・雑誌・広報誌・フリーペーパー等への掲載	広報よこはまをはじめ、約10の媒体で掲載
8	大会プロモーション	ジャパンフィッシングショーなど、他イベントで大会PRを実施
9	SNSの活用	大会公式twitter・facebookにて大会PR



(2) メディア実績

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けたポイント付与大会となる横浜大会は、エリートパラトライアスロン・エリートともに多くの有力選手が出場する中、メディアにおいては、過去最多となる100社を超えるメディアが集まりました。

媒体社数

108社（国内：102社、海外：6社）
計250名

9 ブランディング

(1) ブランディングプラン

横浜大会への共感や信頼などを通じて大会価値を高めるとともに、ブランド構成要素を強化することで、さらなる活性化を実現するため、今大会もブランディング強化に努めました。

	露出物（抜粋）	主な露出箇所（抜粋）	製作数
1	バナー	メイン会場内、各コースほか	573枚
2	フラッグ	メイン会場内、各コースほか	339枚
3	スイムブイ	スイムコース	6基
4	インフレーターアーチ	山下公園内	2基
5	アドボード	トランジションエリアほか	92基
6	サインボード	トランジションエリアほか	26基
7	バックボード	インタビューエリアほか	7基
8	会場サイン	VIPラウンジ前、インフォメーション付近ほか	約30基



会場内
ブランディングの
一例



(2) 和柄ポスター10年史

2009年、開港150周年記念事業を象徴するシンボルとして、大会オリジナルの「和柄」デザインを制作し、国内外へ向け大会PRを行いました。以後、10年間、横浜大会の象徴として本デザインを継承し、10回の節目となる2019年は、市内各所で歴代和柄ポスターの展示を行い、大会の歴史を周知する機会を醸成しました。

和柄ポスター10年史(2009-2014)

2009

「150年前の人たちが選手になって登場」

横浜開港150周年記念事業として開催した大会であり、150年前の黒船来航の様子をイメージし当時の人々がトライアスリートとして競技に参加しています。表記されている数字は、開催日の“22”や“23”、他にも、大会にまつわる数字となっています。

2011

「感動の街横浜。いざここに集結。」

描かれている選手の足元には巻物が広がり、“むかし”から“現在”、そして“未来”へと続く横浜をイメージしています。

2012

「横浜の街にはドラマがある」

キャッチコピーの“ドラマ”と合わせ、トライアスロンのフィニッシュシーンでよく見かける選手同士の抱擁をドラマチックに表現しています。エッジ選手競技説明会会場である横浜開港記念会館が描かれました。

2013

「横浜でココロオドル2日間」

2011年大会の巻物と同様、長く続く道は、さらなる未来への道とトライアスロン大会の継続をイメージしています。

2014

「トライアスロンの歴史に挑み続ける、横浜」

全体が艶やかな金色をベースとし、第5回大会を記念しました。過去と現代が融合する横浜で、これからもトライアスロンの歴史に挑み続けるパワーを表現しました。

和柄ポスター10年史(2015-2019)

2015

「横浜で想いをひとつに」

和柄ポスターで初めて、パラトライアスロンのタンデムバイクが登場し、パラトライアスロンの普及振興に貢献しました。また後方ではブルーカーボンオフセットに大会としてチャレンジするイメージを“ワカメ”で描き、自然の中で行うトライアスロンと環境の関わりを強くイメージし、環境啓発を表現しています。

2016

「横浜史上最高の興奮」

オリンピックイヤーとしてオリンピックカラーの五色を使用し、選手同士の熱い戦いを表現しました。こども記者が登場し大会の盛り上がりを表現しています。

2017

「横浜から未来へ繋げ」

都市緑化フェアとの会期中での開催を受け、花と緑あふれる横浜を表現。開港記念会館が会館100周年を迎える年にあたるため、横浜三塔が初めてそろって登場しました。

2018

「横浜から新しい時がはじまる」

「革新」をテーマに掲げた2018年は、翌年第10回記念大会を控えて原点に戻り、敢えてシンプルに、トライアスロン競技のインパクトを伝える試みを行いました。

2019

「ありがとう、10年の感謝を未来に」

2009年に開港150周年記念事業として開催され、第10回の記念大会となります。これまで多くの方々に支えられ、10回大会を迎えられることへの感謝と、10回大会のその先の未来をテーマとし、横浜開港時の人々と近代の人々の融合により未来へ続くトライアスロン大会を表現しています。

